

広報軽米 【 2024 年（令和6年）2月号 】 からの抜粋

（軽米病院だより）

軽米病院だより

災害派遣医療チームについて

県立軽米病院 院長 葛西 敏史

今年には能登半島地震や航空機事故で始まる悲しいお正月でした。

ところで、DMATやJMATという名前を聞いたことがありますか？ DMATは Disaster Medical Assistance Teamで1995年の阪神・淡路大震災を契機に国（厚労省）主導で作られた災害派遣医療チームで、JMATはJapan Medical Association Teamで日本医師会が作ったチームです。基本的に医師・看護師・他の医療職・事務職員など4人1チームで構成されており、

DMATが発災直後から派遣されて救急治療を担い、その後の医療支援を担うのがJMATです。岩手県からも中央病院・中部病院のDMATチームが向かいましたし、全国からも続々現地入りしました。

その他にも自衛隊、警察、消防など多数の人が現地に入りますので、全体を指揮・調整する部署も必要になります。3.11の際には岩手県庁に本部が置かれ、各地から次々と入る情報を整理し、毎日ミーティングしながら情報を連絡して共有していました。

今後もまだまだ大変だと思いますが、被災された皆さんが安心できる日々になる事をお祈りしています。